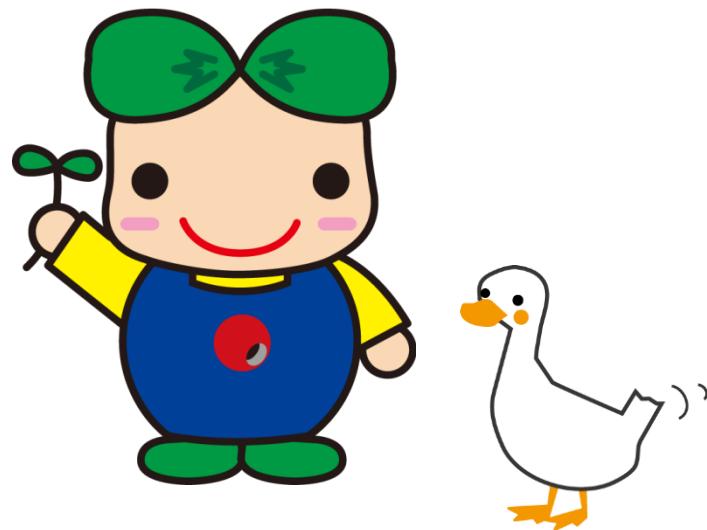


災害対策マニュアル



認定こども園 もりや幼保園

平成30年度

もくじ

1. 組織編成	p1
2. 関係機関との連絡体制	p3
3. 避難訓練 年間計画	p4
4. 園内避難経路	p5
5. 避難所避難場所マップ	p6
6. 備蓄物資と非常持出品	p7
7. 対応マニュアル	
*地震時マニュアル	
(保育室での対応)	p9
(園庭での対応)	p10
(午睡中での対応)	p11
(園外保育中での対応)	p12
(水遊び中での対応)	p13
(園バス乗車時での対応)	p14
バスコース避難所マップ～守谷市内～	p15
～つくばみらい市①～	p16
～つくばみらい市②～	p17
(登降園時の対応)	p18
(休日夜間時の対応)	p19
*火災時マニュアル	
(園児への対応)	p20
(火災発生時の対応)	p21
8. 保護者への引き渡し	p22
9. 緊急時の通信手段	p23
10. 災害時における心のケア	p24
11. 園児の心のケア	p25
12. その他 参考資料	p26
心肺蘇生法 (乳児：1歳児未満) (小児：1歳児以上)	
救急車の呼び方	
災害用伝言ダイヤル 171	

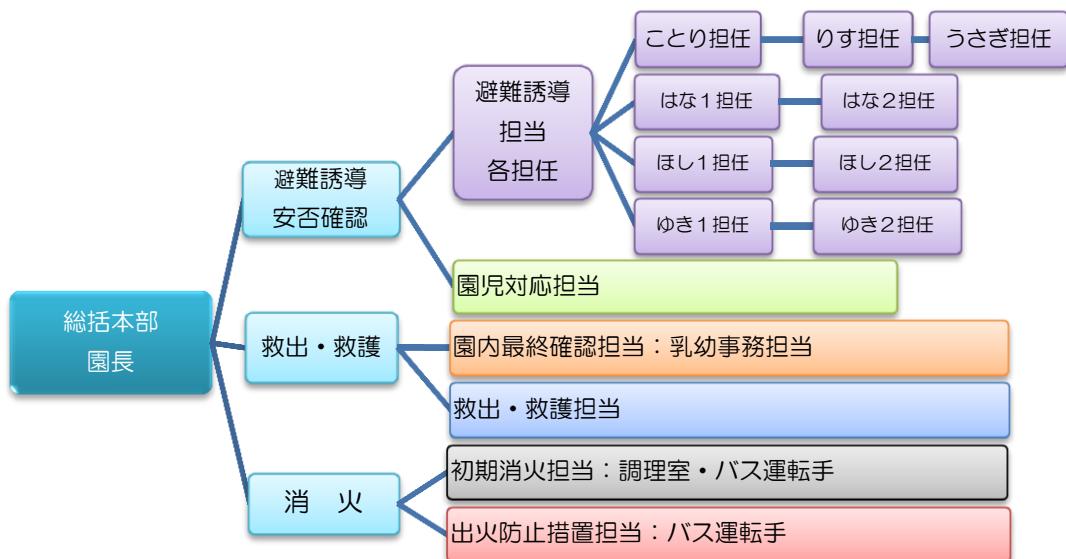
1、組織編成

消防隊編成表

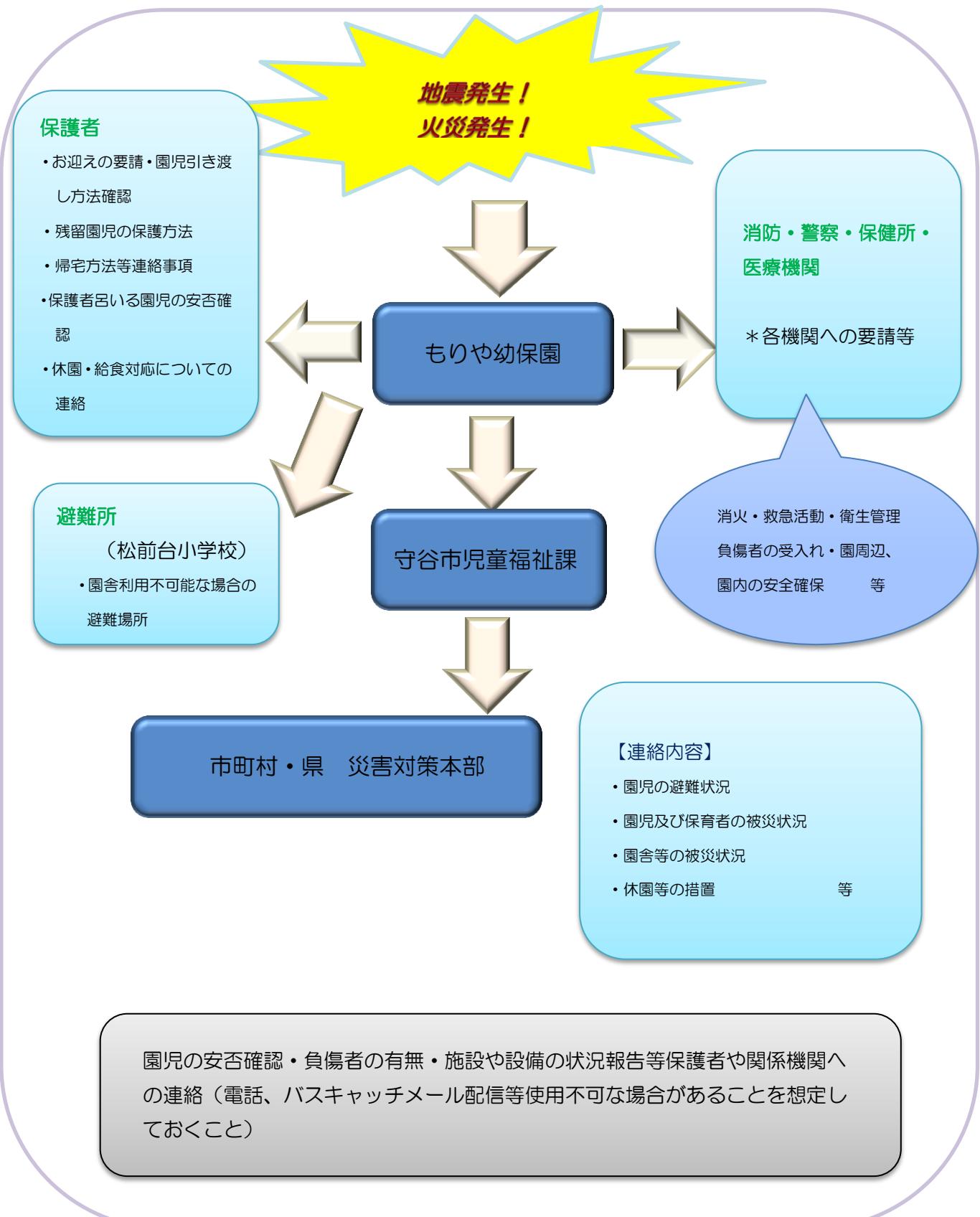
認定こども園 もりや幼保園

係	乳児クラス	幼児クラス	主な対応
総括本部	宮田 泰子	宮田 泰子	<ul style="list-style-type: none"> 被害状況を把握し、避難の実施方法を決定 避難経路の安全性を確認後、避難の指示 二次災害等の情報収集 県市町村等の関係機関への連絡
避難誘導・安否確認	各担任	各担任	<ul style="list-style-type: none"> 園児の安全を確保 園児への的確な指示 (おかしもの合言葉) お・・・おさない か・・・かけない し・・・しゃべらない も・・・もどらない 担任クラスの人員を確認し、負傷の有無・程度等を本部に報告 非常持出品（出席簿・伝達表・クラス所有救急箱） 避難場所への誘導
通報連絡 救出・救護	渡邊 享子	渡邊 享子	<ul style="list-style-type: none"> 保育室・トイレ・園庭等の残留園児確保 負傷者の救出・応急手当 医療機関への連絡 非常持出（引き渡しカード・緊急連絡先ファイル・救急箱）
消火係	皆川 忠士 調理室職員	皆川 忠士 調理室職員	<ul style="list-style-type: none"> 出火防止措置 ガスの元栓を閉める 電気のブレーカーを切る 等 初期消火活動

地震・火災発生時の役割分担



2、関係機関との連絡体制



避難訓練計画及び防災教育

平成30年度 避難訓練 年間計画

平成30年 4月起案

月日	想定内容	予定期間	事前教育	指導目的	訓練方法	その他訓練
4月23日 (月)	訓練 火災 (1次避難)	出火場所 調理室	AM 10:00 1、火災の恐ろしさ 2、紙芝居(火事) 3、避難の仕方	1、避難訓練に慣れる 2、放送をそのままの場所で聞く 3、「おかしも」の合言葉	1、放送をそのままのままの場所で聞く 2、保育士の周りに集める 3、乳幼は声掛けを行う	
5月31日 (木)	引き渡し訓練	降園時 バス停で実施	1、園で災害にあった際の帰宅方法	1、安心して園生活が過ごせるように 保護者との連携を伝える		
6月28日 (木)	電池 (1次避難)	AM 9:30 *消防署申込済	1、紙芝居(電池) 2、避難の仕方	1、避難の方法を知る。 2、「おかしも」の合言葉	1、放送をよく聞く 2、飛来物の影響を抑える為、窓を開かカーテンを引く 3、最下階へ移動する。机の下ごの頭を守り、避難姿勢を取る	
7月9日 (月)	総合・通報訓練 出雲⇒火災	調理室 AM 10:00 *消防署申込済	1、紙芝居(地図) 2、避難の仕方 非常指揮専用(幼児)	1、放送や先生の話をよく聞く 2、「おかしも」の厳守 3、ハンガチ専用について	1、保育士の指示でテーブルの下に入れる 2、放送の指示で園庭に避難する (火災標)によっての避難場所の確認 3、定められた経路により、上履きのまま外出する	消防器場所の確認 消防署の指導・消防車来園 初期消火訓練・通报訓練
8月9日 (木)	地震 (1次避難)	PM 17:30 *消防署申込済	1、担任以外の避難の場合 2、家庭での地震の避難方法	1、障園後頻り保育局の避難方法 2、遠隔の合言葉「おかしも」を守る	1、その場で放送を聞く 2、職員側の役割を決めておく	
9月28日 (金)	川の氾濫対策 (1次避難)	AM 11:00 *消防署申込済	1、川の氾濫の対応 2、生活中の水の避難方法が状況で変わることを知る	1、訓練の必要性について知る。 2、出火警報を実施	1、水没判断を、各職員が出来るようにする 2、職員側の役割を決めておく 3、最上階へ避難する	
10月29日 (月)	火災 (3次避難) (大山公園) *消防署申込済	幼稚園ラズ AM 10:00 *消防署申込済	1、広い場所での避難の仕方	1、火災のときの避難の仕方を知る 2、出火警報を実施	1、放送をそのままの場所で聞く 2、保育士の周りに集める 3、放送の指示で園庭に避難。その後公園への避難	
11月29日 (木)	不備者対策 (1次避難)	AM 9:30 *消防署申込済	1、不備者対策の再確認	1、部屋への侵入後の対応 2、「いのわしおすし」の合言葉	1、どのように、どこに逃げ込み方が等のシミュレーション を行ふ。	
12月20日 (木)	地震⇒火災 (1、2次避難)	近隣住宅 給食中 AM 11:30 午睡明け	1、紙芝居(火事) 2、避難隊員の使用	1、放送や先生の話をよく聞く 2、「おかしも」の厳守	1、放送を聞く 2、定められた経路により上履きで園庭にてる	
1月21日 (月)	地震 (1次避難)	PM 15:00 *消防署申込済	1、活動中の避難の仕方	1、着替え中等の時の避難 2、各保育室での安全確保	1、放送をそのままのままの場所で聞く 2、部屋の中央に集まる。	
2月21日 (木)	通報訓練 総合・通報訓練 (1次避難)	火災 近隣住宅より出火 *消防署申込済	1、1次避難の仕方	1、火災の避難の仕方 2、ハンガチの使用	1、クラスでの待機。 2、指示があるまでの待ち方	通报訓練
3月14日 (木)	地震 (1次避難)	AM 7:30 *消防署申込済	1、担任以外の避難の場合	1、早朝頻かり保育局の避難方法 2、遠隔の合言葉「おかしも」を守る	1、引き渡しの窓に集める。 2、指示をよく聞き、避難行動が取れるようになります。	

*訓練の種別：火災・竜巻・地震・不審者・総合（消防署来園関係）

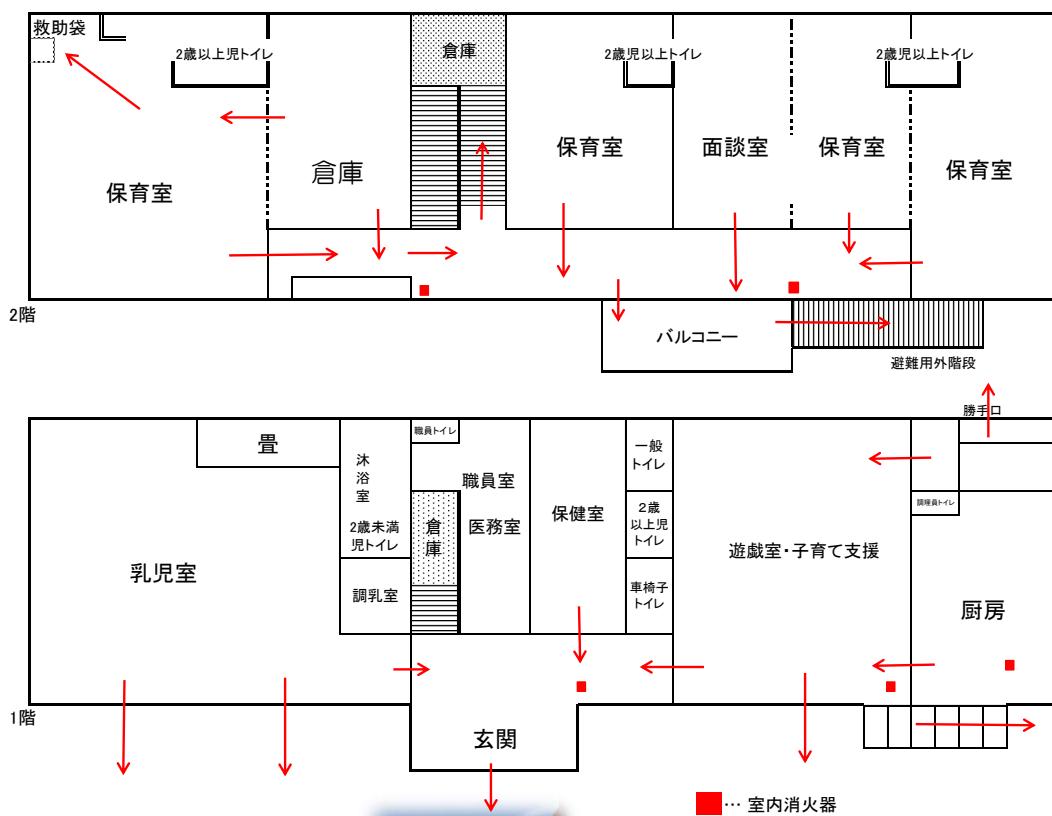
*避難の種類：1次避難（保育室） 2次避難（園庭） 3次避難（大山公園）

*2、3次避難時雨天延期又は避難方法変えて実施

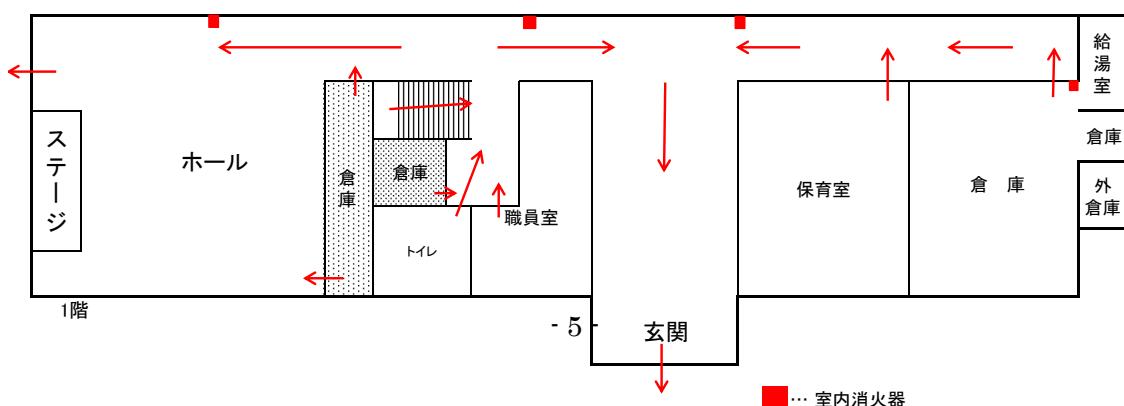
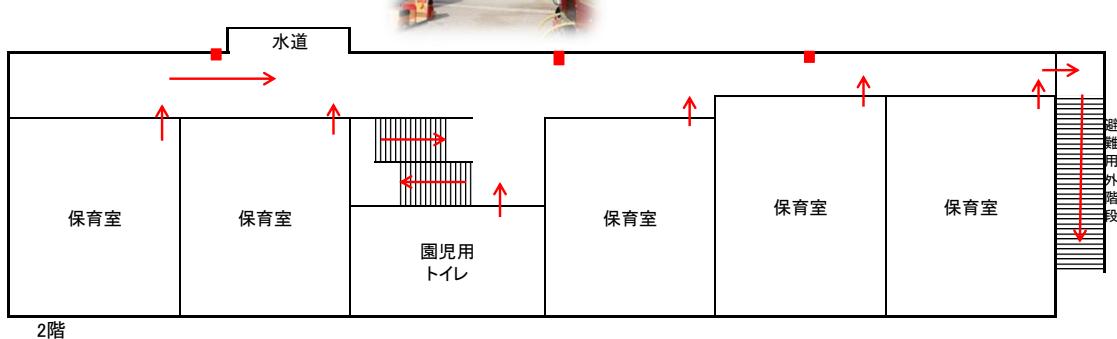
守谷消防署 46-0119

4. 園内避難経路

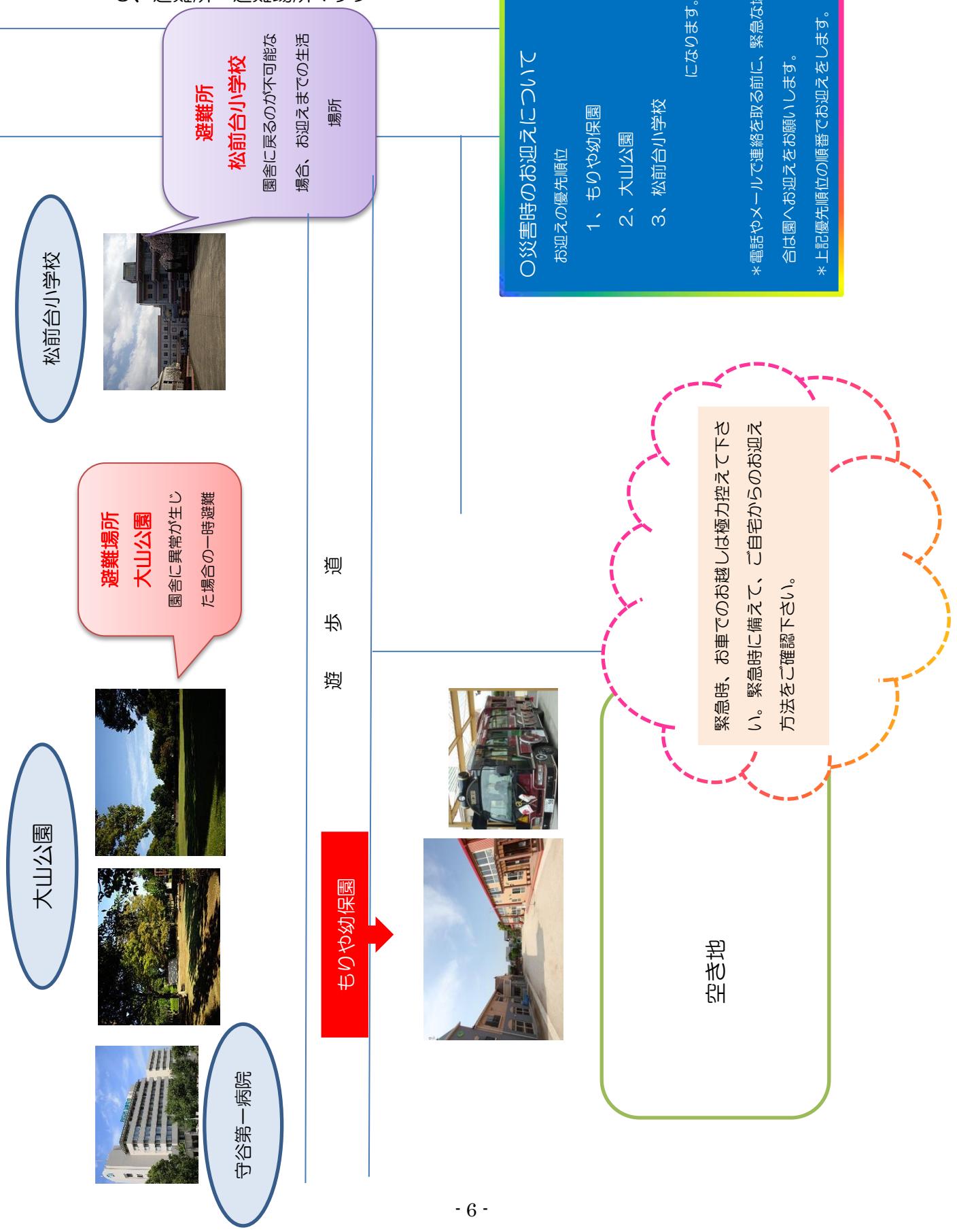
乳児クラス



幼児クラス



5、避難所・避難場所マップ

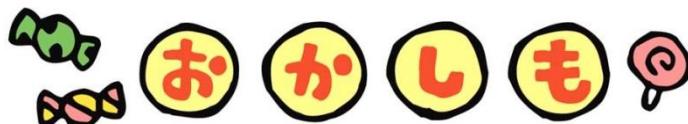


6、備蓄物資と非常持出品



①備蓄物資一覧表

区分	品名
食料品	ミネラルウォーター 粉ミルク、スポーツ飲料 米・アルファ米、缶詰、乾パン あめ、ビスケット 保存期間が長く火を通さなくても食べられる もの アレルギー対応の簡易食料 等
生活用品	水、毛布、ビニールシート 非常用保温アルミシート、着替え、ビニール袋 水筒、哺乳瓶、卓上コンロ（ボンベ） スプーン、フォーク、缶切り、ナイフ、ラップ おまる、紙おむつ、トイレットペーパー、生理 用品、用紙、ガムテープ、雨具、現金（小銭も）、 マッチ、ライター 等
避難用品	防災頭巾（ヘルメット）、おんぶひも、 拡声器（メガホン） 軍手、ロープ、ビニール袋 懐中電灯、ラジオ、乾電池 関係機関連絡リスト 等
救急医療品	包帯、ガーゼ、止血帯、絆創膏、三角巾 湿布、タオル、消毒薬、体温計、カット綿 ゴム手袋 等





②非常持ち出し品

乳児担任	幼児担任	担任以外・事務職員
出席簿	出席簿	緊急カード
伝達表・出席簿	伝達表・出席簿	引き渡しカード
防災マップ	防災マップ	防災マップ
哺乳瓶	着替え	筆記用具
ミネラルウォーター	おしりふき	ティッシュ・ウェットティッシュ
着替え・紙オムツ	ティッシュ・ウェットティッシュ	ビニール袋
おしりふき	ビニール袋	タオル
ティッシュ・ウェットティッシュ	タオル	現金
ビニール袋	筆記用具	救急箱
タオル	笛	懐中電灯
おんぶ紐	懐中電灯	携帯電話・充電器
筆記用具	クラス用救急箱	笛
笛	防災頭巾	ラジオ
懐中電灯	ロープ	関係機関連絡先一覧
クラス用救急箱	時計	等
防災頭巾		等
等		

非常持ち出し品(一次持ち出し品)



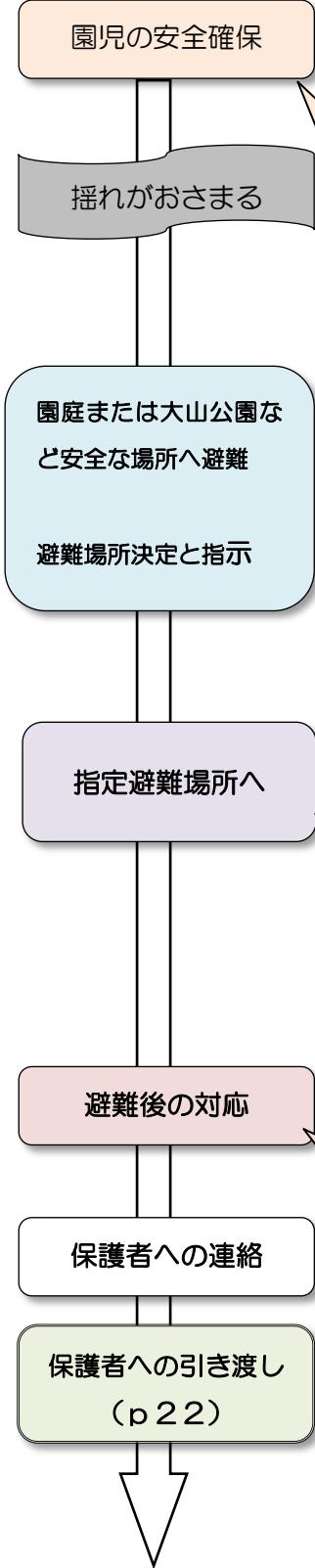
7、対応マニュアル

地震時マニュアル



地震発生！

**保育室等での対応
預かり・延長保育時の対応**



保育者等の対応

- ・出口の確保
- ・的確な指示
「しゃがんで」「机の下にもぐって」「頭を守って」「先生がいるから大丈夫」「先生のそばにおいて」
- ・保育室等では、毛布、防災ずきんなど身近な物で頭部を保護させ、落下物のない場所に集める
- ・火災など二次災害の防止

- ・的確な指示
「頭を守って」「園庭に出ます」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・ハンドマイク等で避難指示

- ・園児を避難させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・トイレ、保育室、ホール等の隅に園児が残っていないか確認する
- ・人員を確認、安全場所に誘導し、落ち着かせる
- ・出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・園長不在時
園長と連絡を取り合い対応する
- ・関係機関への連絡

- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡が取れない場合は、園（避難場所）で保護する

園児への対応・留意点

- ・机等の下にもぐらせる
- ・幼児は、防災ずきん等で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・乳児は、「保育者等が抱きかかえ、毛布などで頭部及び上半身を保護する
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

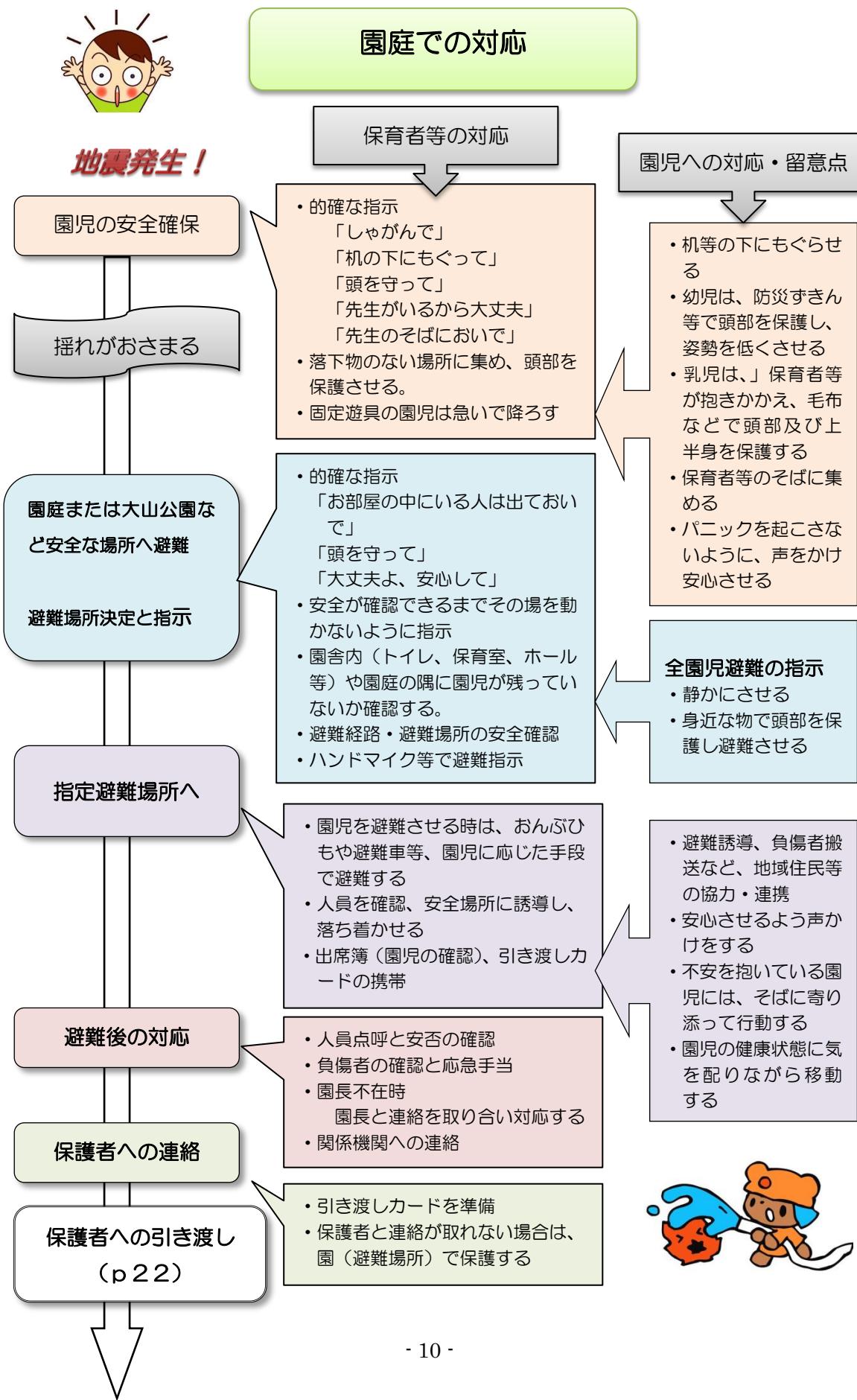
- 全園児避難の指示**
- ・静かにさせる
 - ・身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する



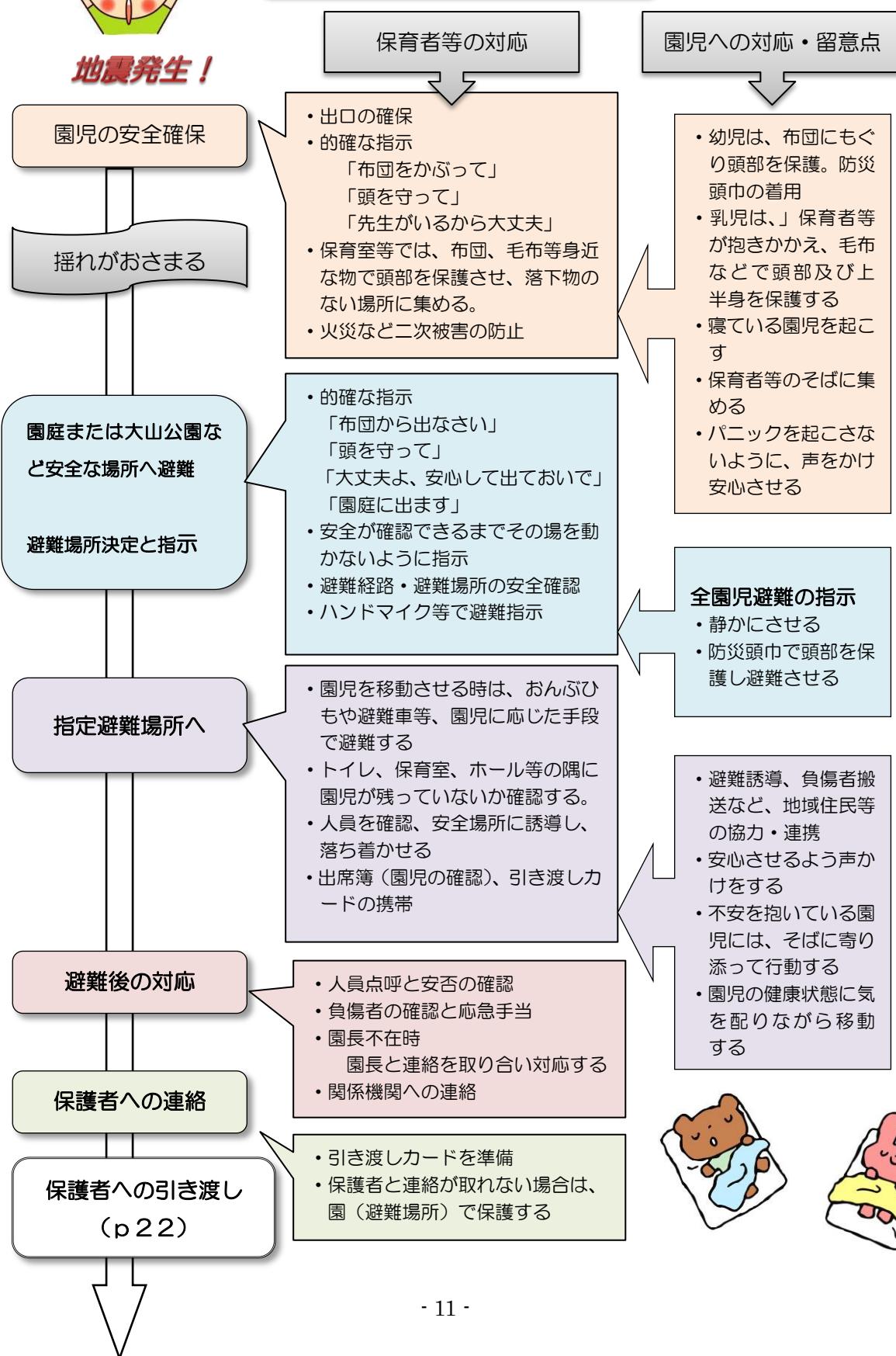


地震発生！





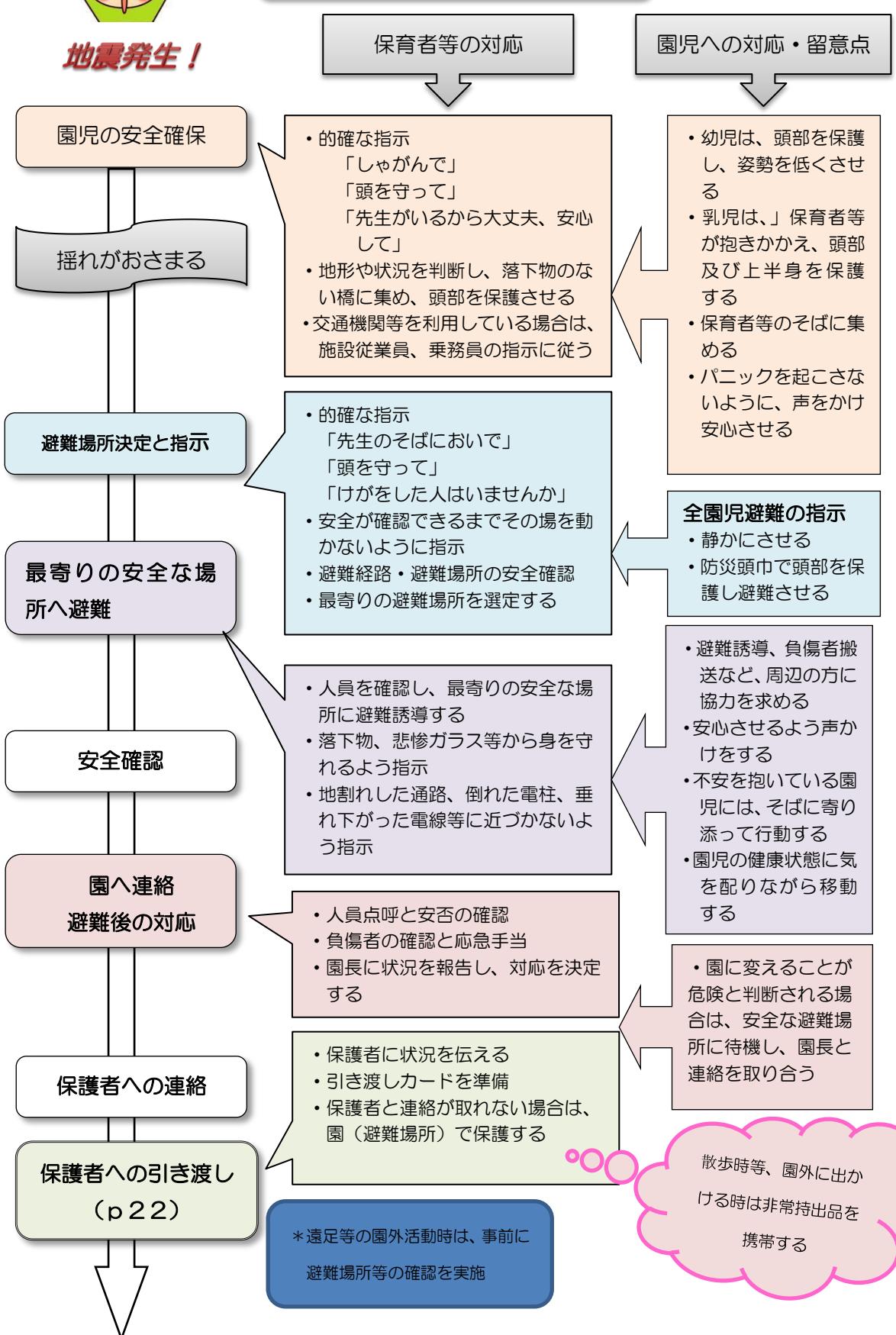
午睡時の対応





地震発生!

散歩・園外保育時の対応

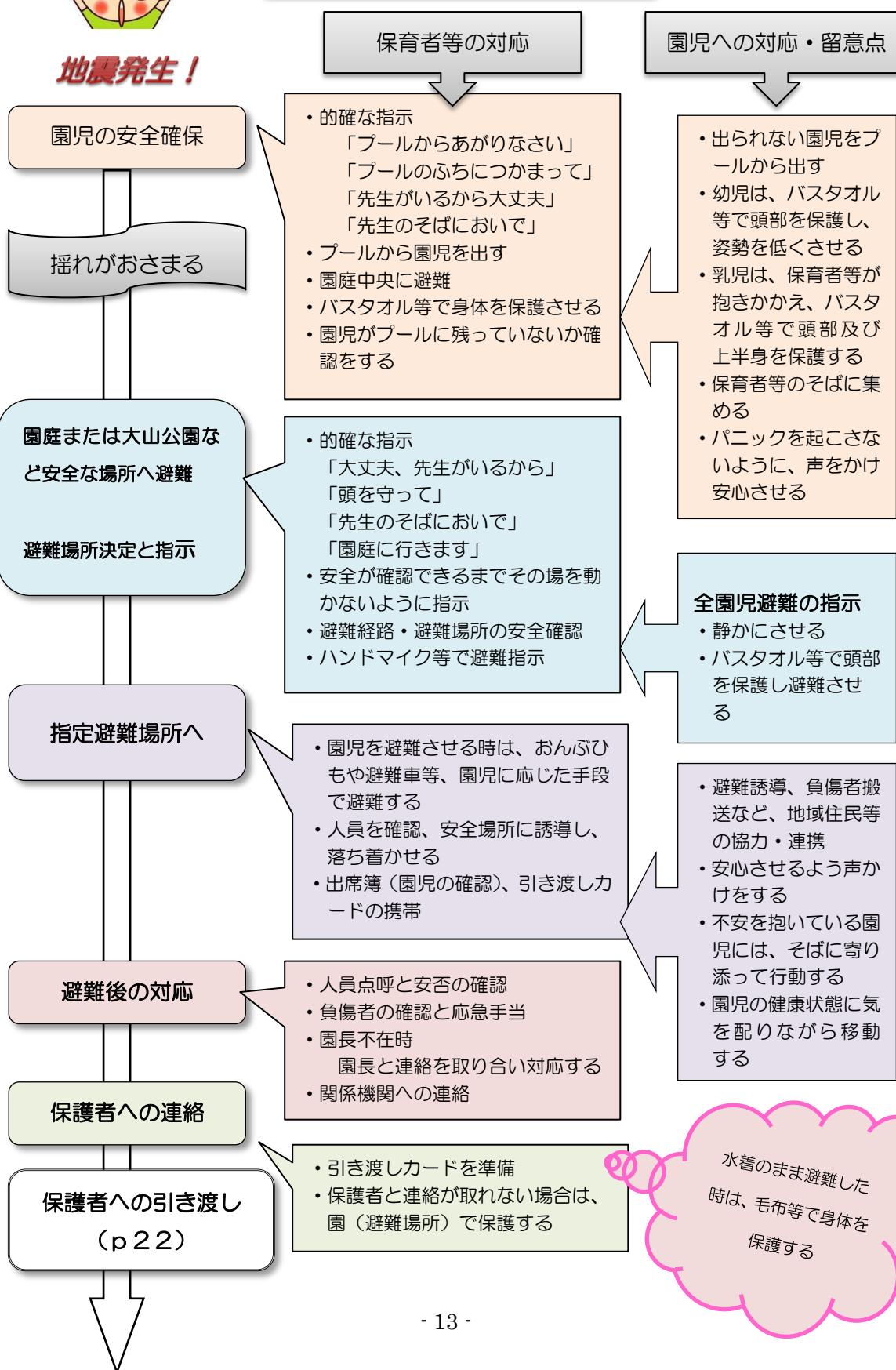


散歩時等、園外に出かける時は非常持出品を携帯する



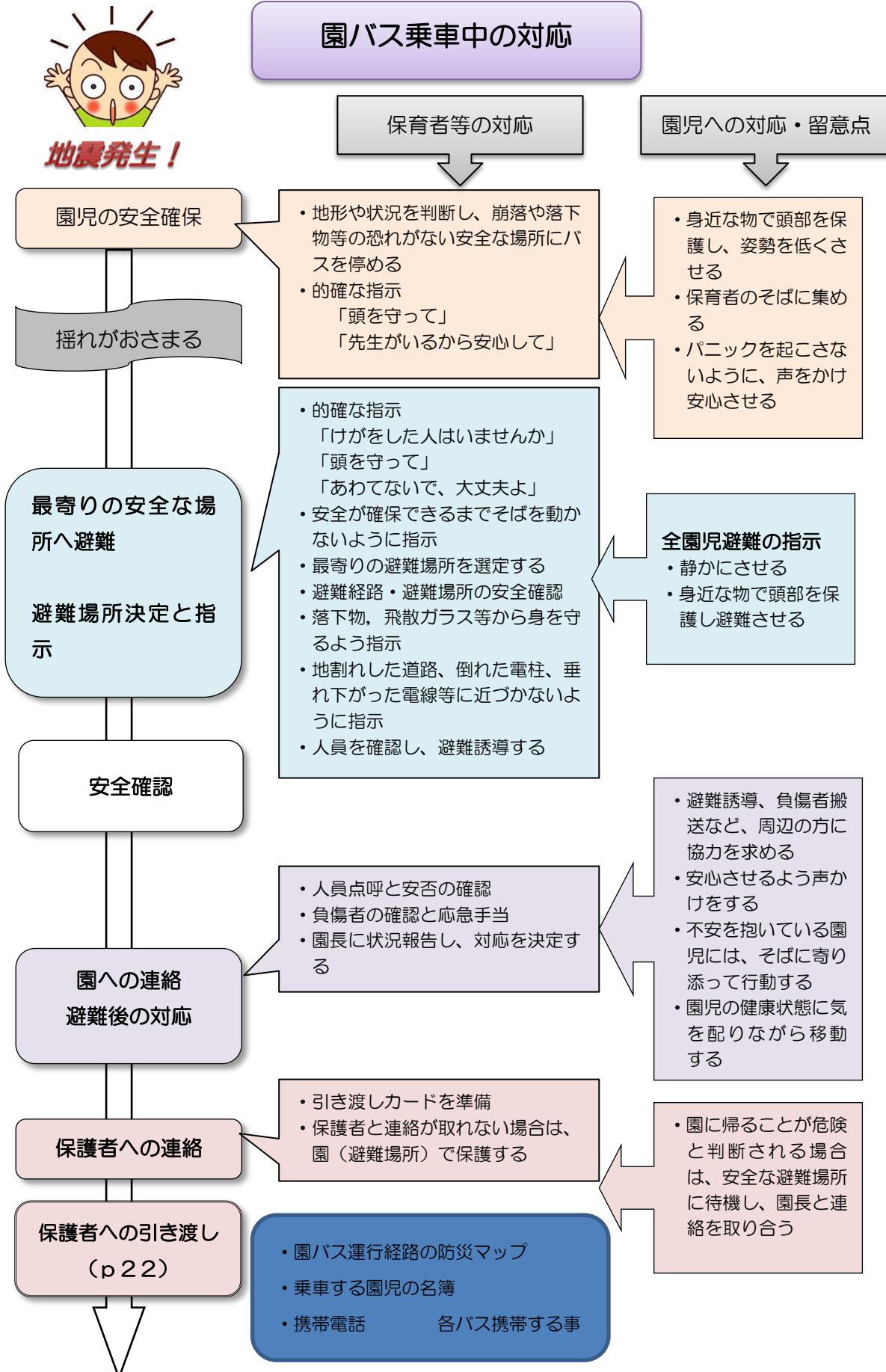
地震発生！

プール・水遊び中の対応



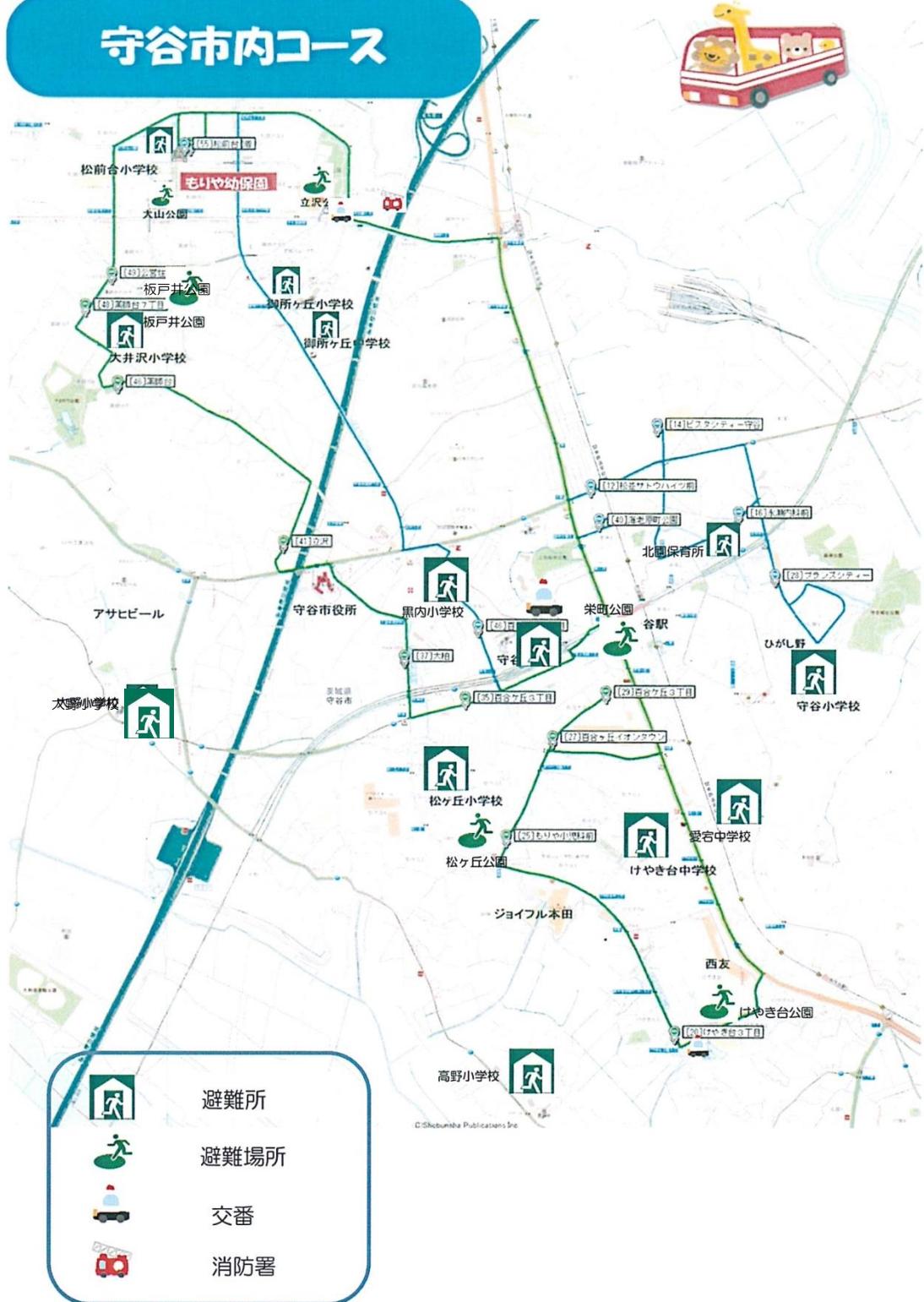


園バス乗車中の対応

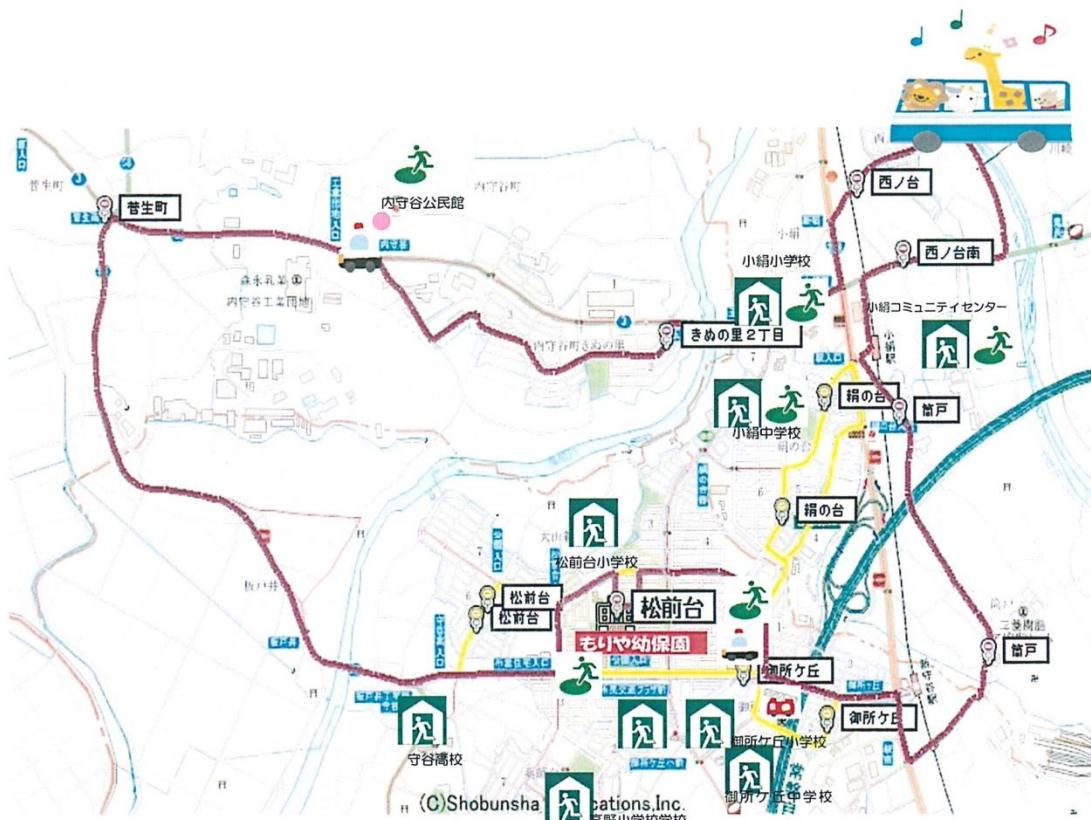


園バス運行経路災害時避難マップ

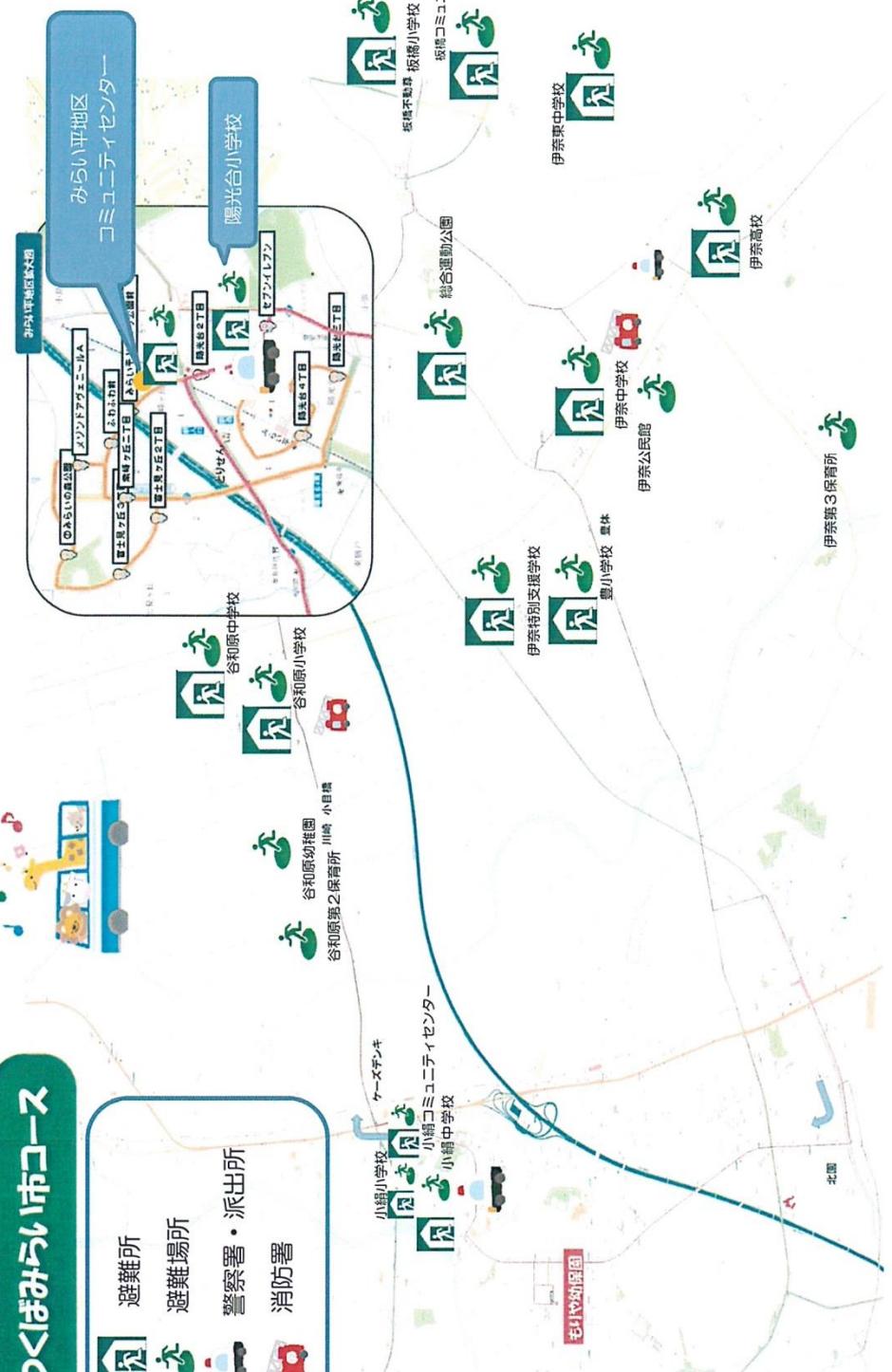
守谷市内コース



★つくばみらい市 筒戸・西の台 常総市 きぬの里 コース
 ★つくばみらい市 絹の台 守谷市 久保ヶ丘 松前台 コース

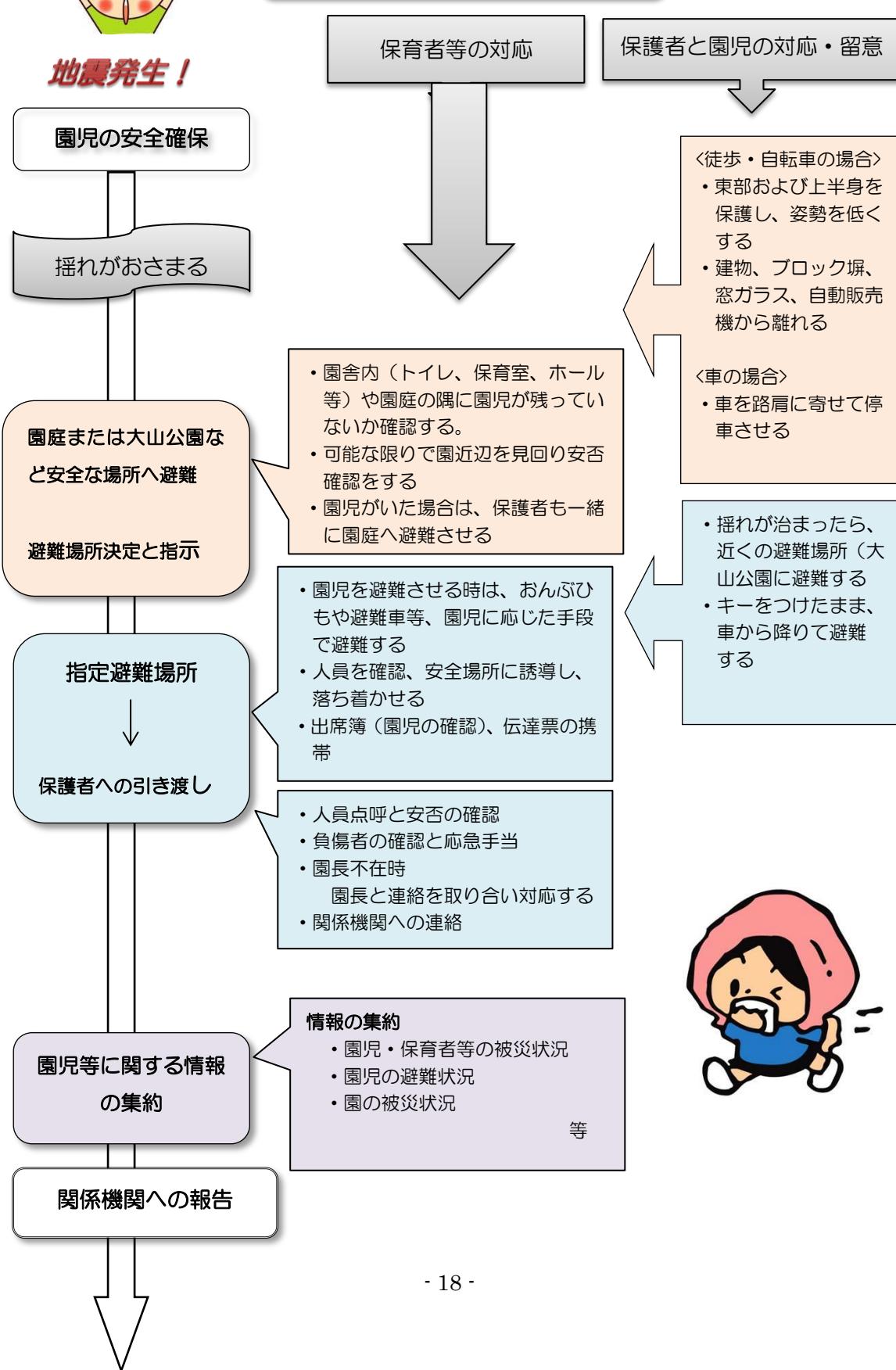


つくばみらい市コース



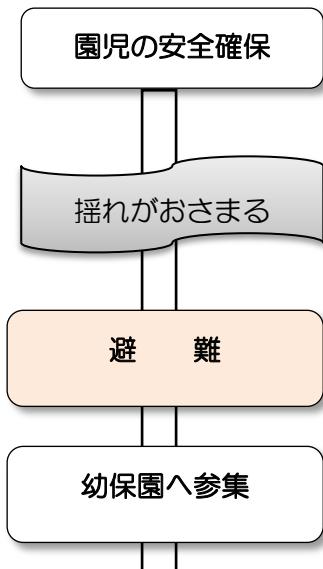


登園・降園中の対応





休日・夜間等の対応



保育者等の対応

保護者と園児の対応・留意

<自宅等にいる場合>

- ・東部および上半身を保護し、姿勢を低くする

<徒歩・自転車の場合>

- ・東部および上半身を保護し、姿勢を低くする
- ・建物、ブロック塀、窓ガラス、自動販売機から離れる

<車の場合>

- ・車を路肩に寄せて停車させる

- ・自分自身の安全を確保する
- ・家族の無事を確認する
- ・家族の安否後、園や指定されている避難場所に参集する

- ・指定されている穂何場所へ避難する
- ・津波危険地域では、高台や十分な強度と安全な高さのある建物に素早く非難する

- ・安全が確認できるまで、避難場所を等を動かない

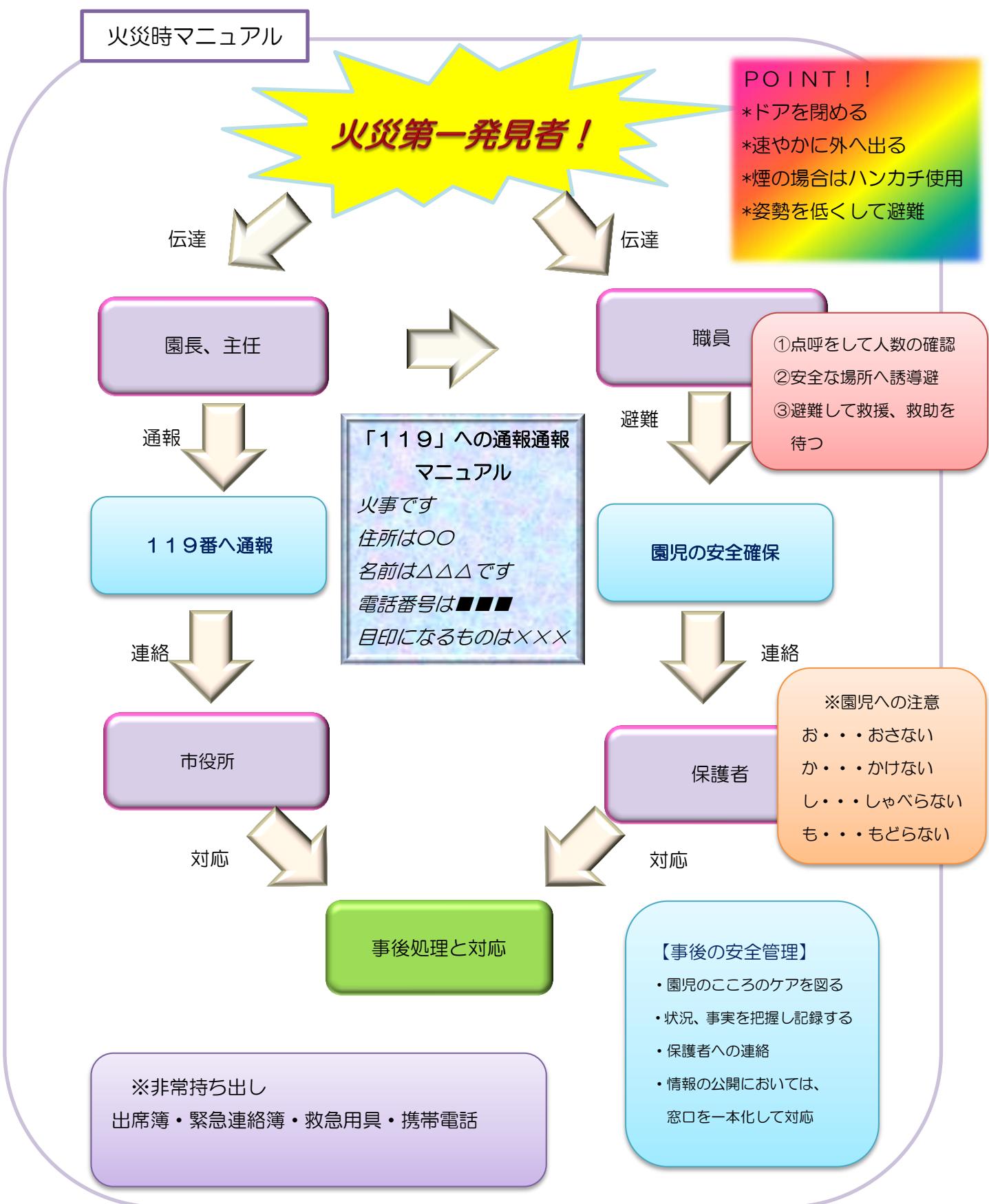


情報の集約

- ・園児・保育者等の被災状況
- ・園児の避難状況
- ・園の被災状況

等





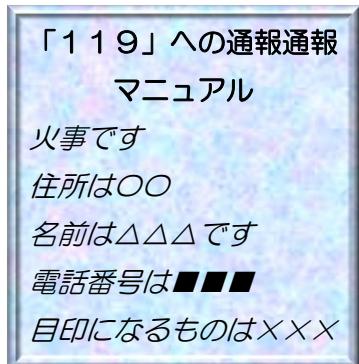


火災が発生したら

第一発見者が園長・主任・職員に連絡する



火災発生時の対応



①園児の安全確保

- ・園児の点呼をし、人数を確認する
 - ・園児を安全な場所へ誘導し避難する
- ②119番へ通報
- ・けが人が出た場合は、救急車の手配もする
- ③市役所に連絡
- ・救援を要請する

関係先への連絡



①保護者へ連絡する

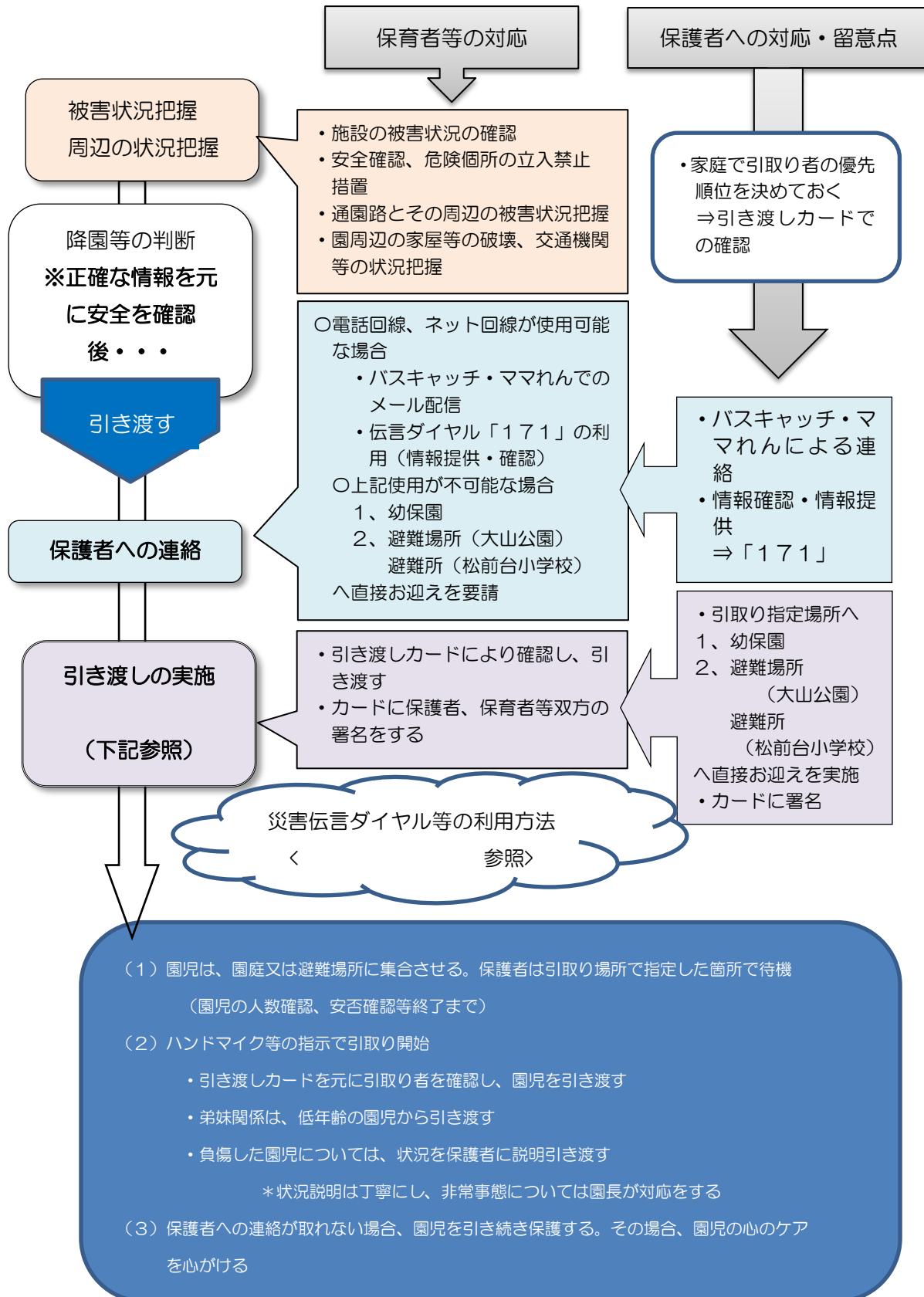
- ・保護者の緊急連絡先、またはバスキャッチ、ママれん等で知らせる
- ・引き渡しカードを使用して、確実に引き渡す
- ・連絡取れない場合、お迎え時間が不明な場合等、避難場所での待機を実施する

事後の対応と処理

- ・事後の安全確認をする
- ・状況、事実を把握し記録する
- ・園児の心のケアを図る
- ・保護者への状況説明を実施する

※情報開示の際には、窓口は園長が行う

9. 保護者への引き渡し



10、緊急時の通信手段

緊急時は「バスキャッチ」「ママれんメール」への配信ができない場合を受けて

災害伝言ダイヤル「171」での伝言を実施致します

* 災害時すぐは伝言ダイヤルの使用も不可能な場合がありますので、その場合は園までいらして頂く事を最優先に実施してもらう

災害伝言ダイヤル「171」

【伝言の再生方法】

「171」にダイヤルする



ガイダンス流れる



②を押す



ガイダンス流れる



園の電話番号を市外局番からプッシュする

(乳児クラス) 0297-45-4916

(幼児クラス) 0297-45-3915



メッセージを再生する

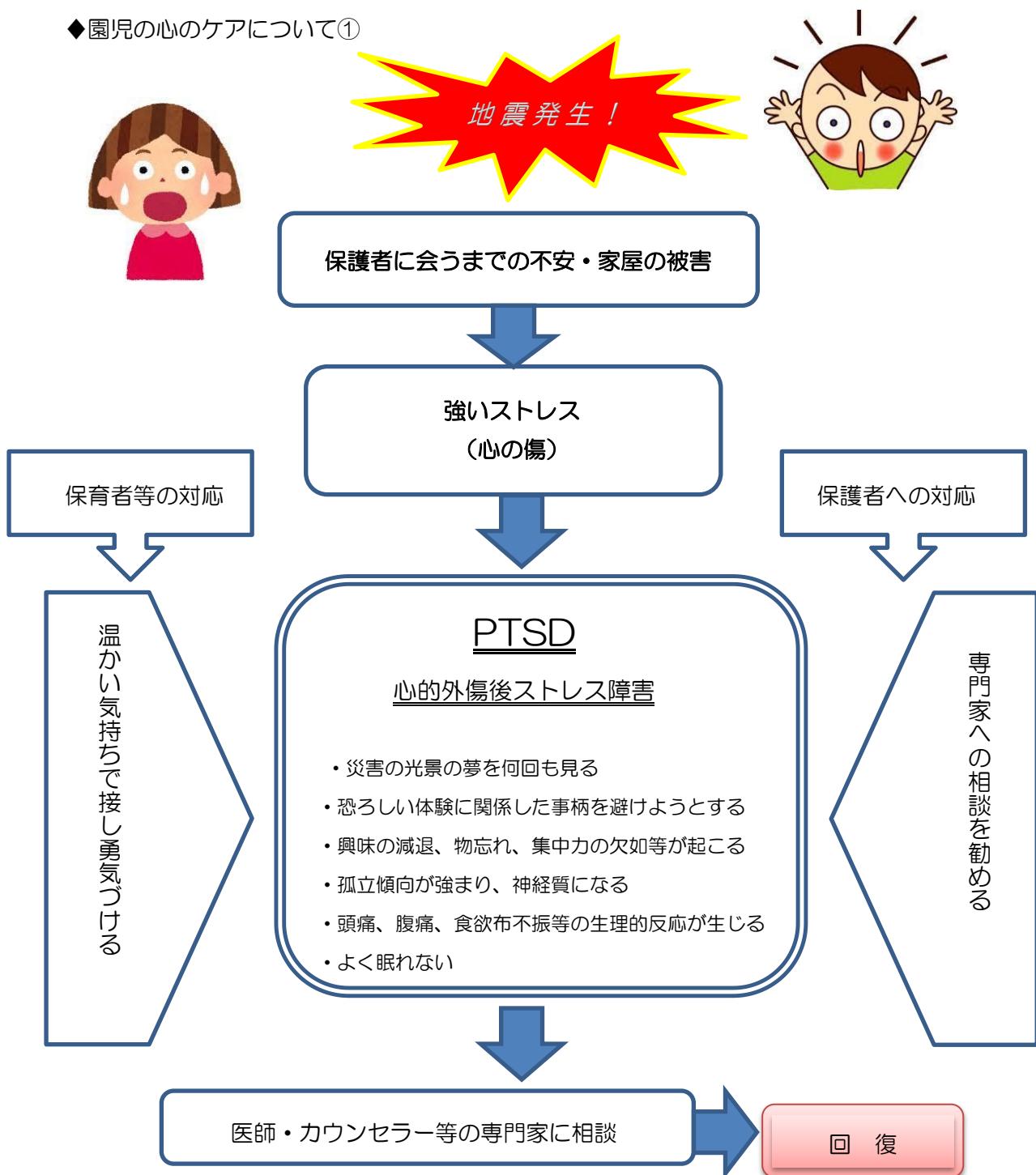


11、災害時における心のケア

園児の心のケア

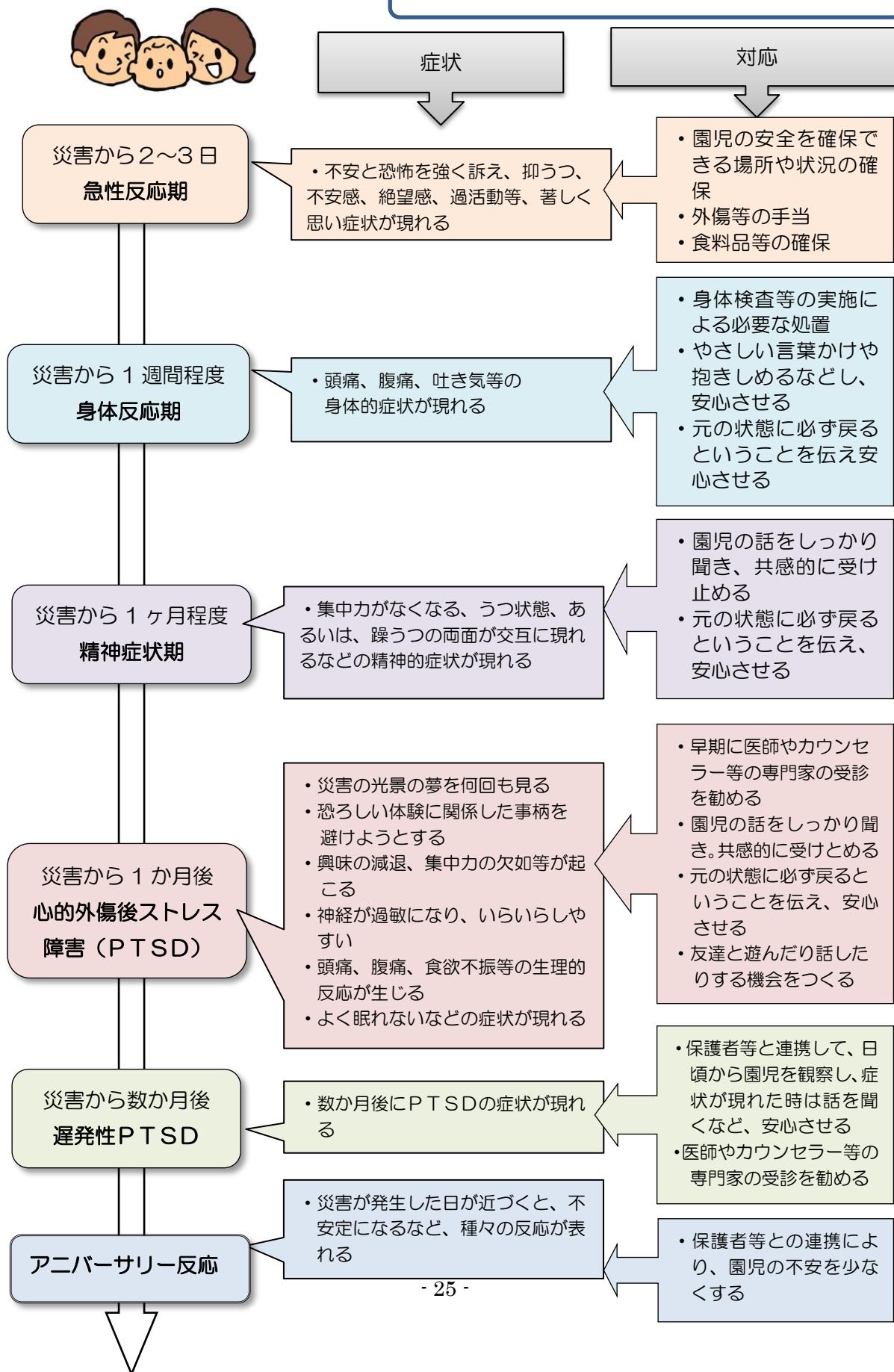
災害発生に伴い、園児に強いストレスが加わると、心身に不調を生じる事がある
その為、災害発生時直後から、早期の心のケアが必要となる。園児に適切な支援を行う為には、専門機関や医療機関等と連携することも重要となる

◆園児の心のケアについて①



12. 園児の心のケアについて②

災害後、園児に現れる可能性のある症状とその対応



心肺蘇生法

乳児
1歳未満

子どもの呼吸が止まり、心臓が動いていないような場合は、ためらわずにかく心肺蘇生を行います。救急車の到着まで行うことで、子どもの命が助かる確率が格段に上がります。

- 1 意識を確認。大きな声で呼びかけ、肩を軽くたたく。



- 2 反応がない場合、119番通報とAED手配を依頼。



- 3 呼吸を確認。胸と腹の動きを10秒以内で観察する。



- 4 心臓マッサージ 30回

呼吸がなければ、図の位置に指を2本置く。

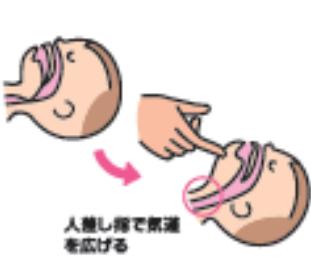
中指、薬指を立てる



- 5 胸の厚さの1/3の深さまで、胸骨を圧迫する。



- 6 頭を反らせ、指であごの先を持ち上げて、気道を確保。



- 7 人工呼吸 2回

大人の口で子どもの鼻と口を覆って息を吹き込む。



- 8 AEDが到着するか救急隊に引き渡ぐまで、または、子どもが回復するまで「心臓マッサージ30回、人工呼吸2回」を続ける。



AEDを使えますか？

AED（自動体外式除細動器）は、心臓の状態を判断し、自動的に電気ショックを与えて正常な状態に戻してくれる医療機器。電源を入れると音声やランプで手順を指示するので、だれでもすぐに使えます。2010年から1歳未満にも使用できるようになりました。いざというときに慌てないように、講習会などで経験しておくと安心です。

(2012年5月現在)



心肺蘇生法

小児
1歳以上

子どもの呼吸が止まり、心臓が動いていないような場合は、ためらわずにかく心肺蘇生を行います。救急車の到着まで行うことで、子どもの命が助かる確率が格段に上がります。

- ① 意識を確認。大きな声で呼びかけ、肩を軽くたたく。



- ② 反応がない場合、119番通報とAED手配を依頼。

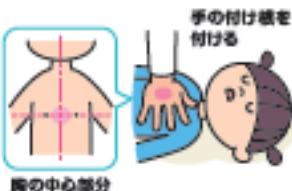


- ③ 呼吸を確認。胸と腹の動きを10秒以内で観察する。



- ④ 心臓マッサージ 30回

呼吸がなければ、ひじを伸ばし、胸の位置に片手を置く。



- ⑤ 胸の厚さの1/3の深さまで、胸骨を強く圧迫する。



- ⑥ 頭を反らせ、指であるの先を持ち上げて、気道を確保。



- ⑦ 人工呼吸 2回

鼻をつまみ、大人の口で口を覆って息を吹き込む。



- ⑧ AEDが到着するか救急隊に引導従ぐまで、または、子どもが回復するまで「心臓マッサージ30回、人工呼吸2回」を続ける。



AEDを使えますか？

AED（自動体外式除細動器）は、心臓の状態を判断し、自動的に電気ショックを与えて正常な状態に戻してくれる医療機器。電源を入れると音声やランプで手順を指示するので、だれでもすぐに使えます。2010年から1歳未満にも使用できるようになりました。いざというときに慌てないように、講習会などで経験しておくと安心です。

(2012年5月現在)



